

**実践事例 I****「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 Vol.2**  
～「見方・考え方」を働きかせ、言語活動を通して、「深い学び」を実現するために～

第Ⅰ学年 お勧めの日本食を紹介する

「書くこと」イ

**1 単元の概要**

## (1) 単元を通して身に付けさせたい資質・能力

お勧めの日本食について、情報や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く。

## (2) 単元の目標

来日予定のALTの姉にお勧めの日本食を紹介するために、ALTの姉に関する情報や自分の考えなどを踏まえて、まとまりのある文章を書くことができる。

## (3) 単元の評価規準（「書くこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・This[That] is～.、It is～.、He[She] is～.、疑問詞 who の特徴やきまりを理解している。 ・お勧めの日本食について、情報や自分の考えなどを、簡単な語句やThis[That] is～. やIt is～.などの文を用いて書く技能を身に付けています。	来日予定のALTの姉にお勧めの日本食を紹介するために、ALTの姉に関する情報や自分の考えなどを踏まえて、まとまりのある文章を書いている。	来日予定のALTの姉にお勧めの日本食を紹介するために、ALTの姉に関する情報や自分の考えなどを踏まえて、まとまりのある文章を書こうとしている。

## (4) 指導と評価の計画（全6時間）

時間	ねらい (■)、主な言語活動等 (丸数字)	知 思 態 備考
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■ALTとALTの姉の対話を聞いて、その内容を捉える。</p> <p>①ALTとALTの姉の対話を聞いて、その内容を捉える。また、捉えた内容について、全体で共有する。</p> <p>②自己目標を立てる。</p> <p>■教科書の登場人物の対話を聞いて、その内容を捉える。また、和菓子を紹介する文章を書く。</p> <p>③和菓子についての対話を聞いて、その内容を捉える。</p> <p>④和菓子を紹介する文章を書く。</p>	<p>〔記録に残す評価〕は行わない。ただし、ねらいに即して〔指導に生かす評価〕を行う。</p> <p>〔記録に残す評価〕は行わない。ただし、ねらいに即して〔指導に生かす評価〕を行う。</p>
2	<p>■教科書の登場人物の対話を聞いて、その内容を捉える。また、料理人を紹介する文章を書く。</p> <p>①料理人についての対話を聞いて、その内容を捉える。</p> <p>②料理人を紹介する文章を書く。</p>	<p>〔記録に残す評価〕は行わない。ただし、ねらいに即して〔指導に生かす評価〕を行う。</p>
3	<p>■教科書の登場人物の対話を聞いて、その内容を捉える。また、お勧めの日本食について紹介する文章を書く。</p> <p>①教科書の登場人物の対話を聞いて、その内容を捉える。また、捉えた内容について、全体で共有する。</p>	<p>〔記録に残す評価〕は行わない。ただし、ねらいに即して〔指導に生かす評価〕を行う。</p>

	<p>②紹介する日本食（麺類）の情報を収集し、収集した情報をマッピングで整理する。</p> <p>③マッピングを基に、ペアで紹介し合い、意見交換をする。また、意見交換の内容を踏まえ、日本食（麺類）について紹介する文章を書く。</p> <p>④文章についてグループで意見交換をする。また、文章を見直し、再構築する。</p>	<p>〔記録に残す評価〕は行わない。ただし、ねらいに即して〔指導に生かす評価〕を行う。</p>
4	<p>■教科書の登場人物の対話を聞いて、その内容を捉える。また、お勧めの日本食について紹介する文章を書く。</p> <p>①教科書の登場人物の対話を聞いて、その内容を捉える。また、捉えた内容について、全体で共有する。</p> <p>②紹介する日本食（揚げ物）の情報を収集し、収集した情報をマッピングで整理する。</p> <p>※③以降は、第3時の③、④と同じ。</p>	
5	<p>■ALTとALTの姉の対話を聞いて、その内容を捉える。また、お勧めの日本食について紹介する文章を書く。</p> <p>①ALTとALTの姉の対話を聞いて、その内容を捉える。また、捉えた内容について、全体で共有する。</p> <p>②紹介する日本食の情報を収集し、収集した情報をマッピングで整理する。</p> <p>③文章の内容と構成を検討する。また、マッピングを基に、ペアで紹介し合い、意見交換をする。</p>	
6	<p>④意見交換の内容を踏まえ、日本食について紹介する文章を書く。</p> <p>■グループで意見交換をする。また、文章を見直し、再構築する。</p> <p>①グループで意見交換をする。</p> <p>②意見交換の内容を踏まえ、文章を見直し、再構築する。 <span style="color: orange;">◆p.4 POINT②</span></p> <p>③完成した文章を1人1台端末に入力する。</p> <p>④学習した内容のまとめを行う。また、自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>	
後日	パフォーマンステスト	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

**2 「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働きかせ、言語活動を通して、「深い学び」を実現するために**

## (1) 本単元における「深い学び」を実現している「生徒の姿」

お勧めの日本食を紹介する相手の文化的背景や状況、関心などを捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を収集し整理しながら、どのような内容を、どのような表現で伝えたらしいのか考え、表現している。また、友達との対話を通して、日本食を紹介する文章の表現内容や使用言語を見直し、再構築している。

## (2) 単元で働きかせる「見方・考え方」

お勧めの日本食を紹介する文章を書くという言語活動において、紹介する相手の文化的背景や状況、関心などを捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を収集し整理しながら自分の考えなどを形成し、再構築すること。

本事例では、POINT①コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にした言語活動の例として、第1時間での単元終末に行う言語活動の導入場面を、POINT②対話を通して得た気付きを基に、自分の考えなどを再構築する場面の例として、単元終末の言語活動である第5・6時を取り上げ、その具体例を紹介します。

## (3) 授業の実際

**POINT①** コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定する。

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にし、必然性のある言語活動を設定することで、生徒は「見方・考え方」を働きながら、相手意識や目的意識をもって、どのような内容を伝えたらよいのか考えることができます。

## 第1時《単元終末に行う言語活動の導入場面》

## 【言語活動】

Chris の姉である Lisa は、夏休みに初めて日本を訪れる予定です。Lisa は、Chris の生徒たちからお勧めの日本食を教えてもらいたいと思っています。Lisa が日本食を楽しめるように、2人の対話を聞いて、紹介する日本食を選び、Lisa にメッセージを書きましょう。

・ALT(Chris)とALTの姉(Lisa)の対話を聞いて、その内容を捉える。

## 目的・場面・状況の提示

Chris's sister Lisa is going to visit Japan during summer vacation. She wants to try Japanese food. First, listen to their conversation, and think about what food would be good for her. Then write a message to her.

・捉えた内容について、全体で共有する。

## 内容を捉えるための発問

Did you get it? What did Lisa say to Chris?

She visit Japan. Japanese food を食べたい。 お勧めの日本食を教えてほしい。

※生徒の発話は、誤りを修正せずにそのまま示しています。

## 目的・場面・状況を把握するための発問

That's right. But why does she want us to tell her about good Japanese food?

日本に来るのが初めてなので、日本にはどのような食べ物があるのか分からなからだと思います。

That's right. She is going to visit Japan for the first time and wants to try Japanese food. She doesn't know much about it, so she wants you to tell her about good Japanese food.

Lisa が日本食を楽しめるように、私たちがお勧めの日本食を選んで紹介するんだね。

What kind of Japanese food does she want to eat?

She wants to eat meat. Japanese sweets, too.

Good. She wants to eat meat. She likes sweets, too. For example, what dish is good for her?

肉うどん！ ぜんざいでいいかな。

That's good. She would enjoy them. What else did she say to Chris?

お勧めの日本食の名前と…。料理名に加えて、料理の見た目や、料理に使われている材料についても知りたいと言っていました。

You're right. She wants to know the name of the dish, what it looks like, and what is in it.

知りたいのは料理名だけじゃないんだね。Lisa が知りたいことを適切に伝えるようにしたいな。

Now what Japanese dish do you recommend to Lisa? Do you have any ideas? In the fifth and sixth lessons, you're going to listen to the conversation again, choose a Japanese dish, and write a message. That is your task in this unit.

## 「見方・考え方」を働かせている生徒の姿

Lisa にメッセージを書いて、お勧めの日本食を紹介するんだね。どのような日本食を紹介したら喜んでくれるかな。

Lisa が日本食を楽しむことができるよう、まずは、外国人に人気のお肉料理や和菓子について調べてみよう。

**POINT②** 対話を通して得た気付きを基に、自分の考えなどを再構築する場面を設定する。

意見交換やモデル文との比較を通して得た気付きを基に、文章を見直し、再構築することで、生徒は、内容面の適切さや言語面の正確さを高めることができます。

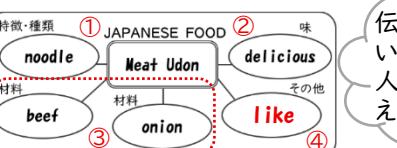
## 第5時《単元終末の言語活動》

## 紹介文を書く場面

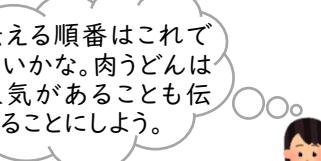
・意見交換の内容を踏まえ、日本食について紹介する文章を書く。

Did you get any good advice from your friends? Next, let's write a message to Lisa. Please use your mapping with your friends' advice.  
教師

## 「見方・考え方」を働かせている生徒の姿



アドバイスや気付きなどを加筆した生徒 A のマッピング



This is Meat Udon. It is a Japanese noodle. It is delicious. Beef and onion are good, too. Please try it. It is very like people.

生徒 A の紹介文

※生徒が書いた文章は、誤りを修正せずにそのまま示しています。

## 第6時《単元終末の言語活動》

## 意見交換をする場面

・グループで意見交換をする。

Please share your messages in groups. Then, give advice to each other. Please check three advice points before you give advice.  
教師

- ・相手が知りたいことについて説明しているか。
- ・相手に伝わる英語で表現できているか。
- ・まとまりのある文章になっているか。

## 意見交換の視点

## 〈内容面〉互いの紹介文を読み合い、内容を改善する。

生徒 A Cさんは、round や red など、形や色を表す単語をたくさん使っているね。

生徒 A 料理の見た目も教えてほしいと言っていたからね。Aさんも見た目について説明してみたら。

生徒 A That's a good idea. 牛肉と玉ねぎについては、味ではなくて、薄く切られていてうどんの上にのっていることを伝えようかな。

## 〈言語面〉自分自身や生徒同士で語句や英文を修正する。

生徒 B "It is very like people."と書いているけど、これはどういうことを伝えたいのかな。

生徒 A 肉うどんはみんなに人気があるということを伝えたいんだけど…。

生徒 B なるほど。モデル文のように、"It is very popular."と書いたらどうかな。

## 紹介文を再構築する場面

・意見交換の内容を踏まえ、文章を見直し、再構築する。

Lisa の希望に合うように、内容を見直している人が増えてきましたね。また、伝えたいことが伝わるように教科書のモデル文を参考にしている人も多いようです。文章のまとまりについてはどうですか? Check your message again and make it better.  
教師

## 「見方・考え方」を働かせている生徒の姿

料理の見た目についても説明しよう。それから、「人気がある」は、モデル文を参考にして "popular" を使おう。 "Please try it." は、メッセージの最後に書くと、文章全体の構成が整って伝わりやすくなるかな。

This is Meat Udon. It is a Japanese noodle. It is delicious. Sliced beef and onion are on top. It is very popular. Please try it.

再構築した生徒 A の紹介文

※ハイライトの部分は、意見交換を通して得た気付きを基に、内容面や言語面において文章を見直し、再構築した部分を示しています。  
(実線:改善した内容 実線:改善した表現)

このように、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働き、言語活動を通して、「深い学び」を実現するためには、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定するとともに、単元を通じた学習過程の中に、対話を通して得た気付きを基に自分の考えなどを再構築する場面を設定することが大切です。